

医療廃棄物処理施設：新焼却炉の稼働開始 関東甲信地域全域からの受入要請に応える焼却処理能力を増強

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、産業機械部門を担う古河産機システムズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：岩間 和義）の関係会社である群馬環境リサイクルセンター株式会社（本社：群馬県高崎市、社長：横山 修郎、以下：GKR[※]）は、医療廃棄物の焼却処理を行う2号焼却炉を新設し、2024年4月1日から営業運転を開始しました。当面は2号焼却炉の稼働率を上げ安定操業に努め、既存の1号焼却炉は緊急時に備えつつ、老朽箇所のメンテナンスを行ってまいります。2026年度には1号焼却炉と2号焼却炉の併用での安定操業を開始する予定です。両炉での最大焼却処理能力は1号焼却炉のみの稼働時の約2倍の130トン/日となります。群馬県はじめ東京都のほか関東甲信地域全域からの受入れ要請にも応えることが可能となり、今後予想される医療廃棄物処理の需要増に対応してまいります。

※GKRは当社グループの登録商標です。



2号焼却炉全景

2号焼却炉新設の目的

GKRは、医療廃棄物の中間焼却処理を行っており、国内最大級の保冷自動倉庫を併設した最新鋭の医療廃棄物専門処理施設です。既存の1号焼却炉は2006年4月の操業開始以降、群馬県における医療廃棄物処理において実績を積み重ねてきました。また、新型コロナウイルス感染症が蔓延した状況下では、群馬県下の療養者施設全ての感染性廃棄物処理を請け負うなど、地域貢献に努めてきました。

今後、少子高齢化が進み、高齢者医療・介護を中心とした医療廃棄物の増加や、新型インフルエンザなど感染症の流行による感染性廃棄物の大量発生等のリスクが想定され、GKRが、地域の医療廃棄物の適正処理要請に応えるためには、処理能力の増強、ならびに故障リスク等のBCP対応が必要と判断し、2023年1月より炉を増設する設備投資に着手し、今般、2号焼却炉を新設、2024年4月より営業運転を開始しました。

今後は、2号焼却炉の稼働率の上昇と安定稼働に努めると同時に、1号焼却炉の老朽箇所のメンテナンスを進め、2026年度には両炉での稼働を開始する予定で、現行の約6割増しの年間28,000tの処理する安定操業体制を見込んでいます。

GKRは、今後も医療廃棄物処理を通じて、地域に貢献していきます。

1号焼却炉・2号焼却炉の概要

〈1号焼却炉〉

可能処理量	60 t/日
稼働日	320 日/年
処理方式	キルン・ストーカ炉
排ガス処理方式	バグフィルタ+触媒反応塔
1号炉用保管庫	3階建て保冷自動倉庫
1号炉棟（誘引通風機室等を含む）	地上3階 延べ床面積 1,151.50 m ²

〈2号焼却炉〉

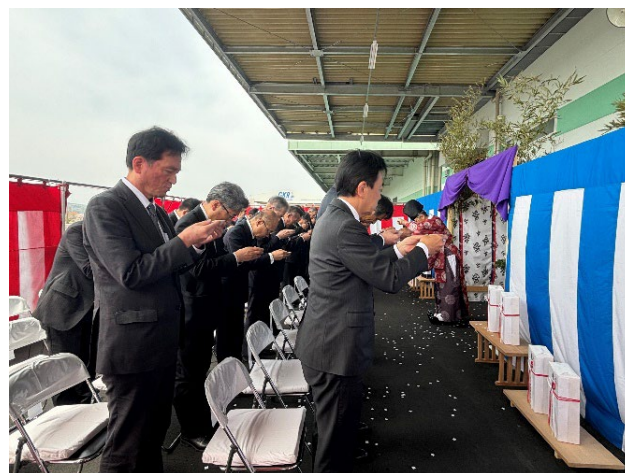
可能処理量	70 t/日（医療廃棄物として）
稼働日	300 日/年
処理方式	バーチカル炉（縦型火格子式ストーカ炉）※
排ガス処理方式	バグフィルタ+触媒反応塔
2号炉用保管庫	保冷立体自動倉庫
2号炉棟（誘引通風機室を含む）	地上3階 延べ床面積 1,562.42 m ²
総投資額	約28億円

※バーチカル炉は、ガス化燃料方式の焼却炉で、廃棄プラスチックなどの発熱量の高い廃棄物処理に向いています。

〈共用設備〉

事務所棟	地上2階 延べ床面積 329.28 m ²
第一保冷保管庫棟	地上1階 延べ床面積 1,068.00 m ²
第二保冷保管庫棟	地上1階 延べ床面積 2,371.25 m ²

2号焼却炉竣工式の様子



〈問い合わせ先〉

- ・ニュースリリースに関して
- ・新設の2号焼却炉について

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR課 TEL : 03-6636-9501
 群馬環境リサイクルセンター株式会社 管理部 TEL : 027-347-8760

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】(東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715)

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号 (常盤橋タワー)

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 3 部門 (産業機械部門、ロックドリル部門、ユニツク部門) と素材事業 3 部門 (金属部門、電子部門、化成品部門) を展開しています。

創業：1875 年 (明治 8 年) 8 月

設立：1918 年 (大正 7 年) 4 月

資本金：282 億 818 万円

従業員数：2,855 人[2024 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河産機システムズ株式会社】(古河機械金属株式会社 100%子会社)

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号 (常盤橋タワー)

代表取締役社長：岩間 和義

事業内容：足尾銅山の鉱山機械修理技術をルーツに、現在はスラリーポンプ、汚泥ポンプ、破碎機、スクリーンのほか、鋼橋梁やベルトコンベヤ等の設計・製造・据付工事・運転管理を行っています。

設立：2004 (平成 16) 年 5 月

資本金：3 億円

従業員数：447 名[2024 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawa-sanki.co.jp/>

【群馬環境リサイクルセンター株式会社】

本社所在地：群馬県高崎市倉賀野町 3250-12

代表取締役社長：横山 修郎

事業内容：医療廃棄物の中間焼却処理を行っています。

設立：2001 年 7 月

資本金：4 億円

従業員数：22 名[2024 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<http://www.gkr.ne.jp/index.html>